

畑作物生産改善対策費のうち

畑作構造転換事業費

予算額	2,535,871千円	(前年度	866,401千円)
うち道費	0千円	(前年度	760千円)

1 事業の目的

畑作産地の労働力不足に対応しつつ、革新的生産技術や作業体系の導入に向け、馬鈴しょ・てん菜の省力作業体系の導入や単収向上のための新技術導入、用途転換の促進、種子用馬鈴しょの生産性の向上等の取組を総合的に支援する。

2 事業の内容

(単位：千円)

区分	事業内容	補助率等	予算額
省力化等の推進	○省力作業機械等の導入	定額 1/2以内	2,535,871 (0)
新技術等の導入	○湿害対応新技術の導入 ○病虫害抵抗性品種の導入 ○産地技術講習会の開催		
用途転換等の促進	○輪作年限の延長 ○馬鈴しょ、てん菜に係る適期作業の推進 ○労働負担の小さい作物への転換 ○畑地の土壌・土層改良		
種子用馬鈴しょの生産力向上	○産地育成 ○り病率の低い原種の供給 ○品質向上技術の導入		
馬鈴しょ新品種の早期普及	○新品種導入のための大規模実証		
合計			

3 事業実施主体

北海道、市町村、農業者団体、地域農業再生協議会等

4 事業実施期間

平成29年度（2017年度）～

〔担当：農政部生産振興局農産振興課
(内線 27-714)〕